

G ツールド妻有 2024：8月25日

芸術祭の本番年である今年もたくさんの参加者にめぐまれ、ツールド妻有を開催することができました。ご協力いただきましたみなさまに感謝申し上げます。

また、2024年5月29日、ツールド妻有は新潟県で初となる「国土交通省・自転車活用推進功績者」の表彰を受けました。ツールド妻有実行委員会代表の伊藤様と事務局を務めます弊法人小針が出席し、表彰状と盾をいただきました。

地域の皆さま方のあたたかいご支援とご参加いただきます皆さまの応援の賜物と思っております。



G 地域との交流 地元の小学校、中学校とのふれあい

4月清田山キャンプ場にて、中里中学校の全生徒でチームビルディング研修（自らの力を最大限に発揮しつつ、目標を達成できるようなチームをつくる取り組み）を行いました。好天の中、生徒たちの笑う声がテントサイトに響いていました。



また、8月のツールド妻有にも、中学生が事前に参加者へメッセージを書いてくれました。受け取った参加者から「行くことがとても楽しみなった、泣きそうになった」などとお言葉を頂戴しました。当日はゴール地点で参加者のみなさまを賑やかにお出迎えいただきました。

9月は田沢小学校5年生に清田山キャンプ場で、児童たちに自立の精神を身に付けてもらうJRCトレーニングセンターのお手伝いをしています。今年も初めて張るテントに、みなで作るカレーと終日賑やかな児童たちの声が響いていました。

年が明けてからは中学3年生の雪上キャンプのお手伝いもさせていただき、年間を通して様々な関わりを持つことができました。今後も継続して地元のこどもたちに清田山キャンプ場での体験、また学習のお手伝いができればと思っております。

Go! Go! Ghibli!! は、NPO法人GGGの活動をお知らせする広報誌です。支援して下さる会員の皆さまへ配布させていただくとともに、当法人ウェブサイトへ掲載しています。今後ともご指導、ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。



特定非営利活動法人GGG（スリージー）

〒949-8415 新潟県十日町市通り山子413

“緑の大地に熱い風を” Tel：025-761-7433（平日8～17時）E-mail：npoggg2017@gghibli.org
Green Ground Ghibli ウェブサイト：https://gghibli.org/

Go! Go! Ghibli!!

ゴー ゴー ギ ブ リ
2025.03

G 2024年 清田山キャンプ場

2024年もたくさんのお客様から清田山キャンプ場をご利用いただきました。いつも地域のみなさまからお手伝いをいただいているおかげで、きれいな施設とお声を頂きました。しとしと雨の天候が続くこともありましたが、リピーターのお客様の利用が多かったこともあり、賑やかにシーズンを終えることができました。

清田山キャンプ場 利用者延べ人数（単位：人）

	フリーサイト	オートサイト	コテージ	全体
2024年	2472	999	1560	5031

また、第9回目となる大地の芸術祭が開催され、清田山キャンプ場の図書棟（旧研修棟）のそばに、「手とは美しいもの（作ダダン・クリスタント）」という作品が設置されました。リサイクルが可能な廃材を使用し作られた風車作品は、ダダンさんと田沢小学校の児童が芸術祭のワークショップで一緒に作りました。

清田山集落の農道に展示された「カクラ・クルクル・アット・ツマリ」もダダンさんの作品です。静かな時はコテージの掃除の際にも、カラカラという音が聞こえてきました。

近年、利用者が増えたことにより、車両通行に関してご迷惑をおかけしております。施設側としては、お客様へ『ゆっくり走行』を心がけていただけるように来年度も引き続き継続してお伝えしてまいります。



2022年の芸術祭の際に展示された杉のクマ（スギノワグマ）さんが新しく管理棟の入口に増えました（作家：増田啓介氏）



「手とは美しいもの」
会期中にもワークショップが行われ、少しずつ作品が増えていきました。

2024年度にご支援いただいた企業の皆さま（敬称略） 深く感謝申し上げます
株式会社 雪の魚沼 タナベ防災 株式会社 有限会社 富井電気

2024年度 賛助会員様



G 越後田舎体験プログラムの受け入れ

2024年6月に東邦大学附属東邦中学校の生徒のみなさまを受け入れました。1日目は清田山キャンプ場入口手前の田んぼの田植えを行いました。例年通りおそるおそる泥の中に足を入れることから始まる賑やかな田植えです。

生徒の皆さまには自分たちの食卓にあがるまでのいくつもの仕事があることに興味をもっていただけたらと思います。田起こし、代掻き、また当日の準備やお手伝いなど、地域のみなさまはたくさんご協力いただきました。いつもありがとうございます。

2日目は探求学習となり、自然観察と木工クラフト体験を行いました。自然観察では清田山キャンプ場の周囲を歩きながら、幸運にもニホンカモシカにも遭遇することができました。

10月には、田植えをした稲をはさがけをし収穫したお米を中学校へとお送りしました。生徒のみなさまからは手書きのお礼状をいただき、清田山キャンプ場での経験が今後の「食」や自然への興味につながることを願うばかりです。



G 冬の体験

雪が降り積もる時季はミオンなかさと様の第2駐車場をお借りして、かまくら体験、ホンヤラドウ体験を行っております。現在では使われなくなったスッポンを履き、スゲボウシやミノとカンジキを着けて周囲を歩き、普段雪に触れ合う機会の少ないお客様は雪原を歩くだけでにっこりとしします。

雪の積もらない台湾からのお客様も多く、この冬は団体の受け入れもいたしました。積雪期民具への質問など、日本文化に興味を持たれる方が多い印象です。皆さま、にぎやかに雪を堪能されたようでした。

また牧之通り（南魚沼市）での着物体験でも台湾からのお客様がおいでになりました。体験時にサプライズのプロポーズをしたいとのご希望をいただき、お手伝いをさせていただきました。結果、大成功で全員が笑顔となり素敵な時間を共有させていただきました。

この地に受け継がれている雪国文化を少しでも伝えていけることができれば、こんなに嬉しいことはありません。ぜひ、皆さまのお知恵や懐かしい話をお聞かせください。



G 第39回 清田山キャンプ場まつり：8月4日

2024年も河岸段丘の眺めが美しい「テントサイト2」を使用した「第39回 清田山キャンプ場まつり」を開催しました。

天気にも恵まれたこともあり、近隣集落の皆さまやキャンプ場のお客様にもおいでいただき、賑やかなお祭りとなりました。

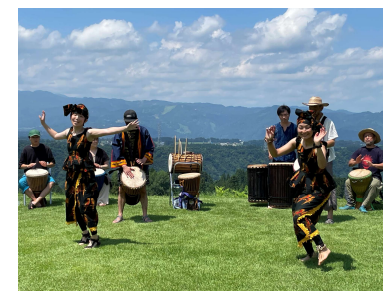
芝生のステージには、アフリカの不思議な音楽と歌のとうまりんけ×アフリズムセッション様や、懐かしいメロディとともに練り歩くこゆきチンドン様が盛り上げてくださいました。

とても暑い中ではありましたが、近隣集落の皆さまには様々なお手伝をいただきました。本当にありがとうございます。

今年も地元企業様や集落様からのご協賛を賜りましたおかげで、まつりを盛大に開催することができました。2025年は40回目を迎えることもあり、地域の皆さまや来訪者が交流する機会をお手伝いしていきたいと思います。

御祝い：清田山区様、重地区様、田代区様、中里下山区様

ご協賛（五十音順）：大村建設様、(有)倉又住宅設備様、倉俣地区振興会、(株)三高土木様、(株)鈴木土建様、タナベ防災(株)、(有)富井電機様、(株)星野建設様



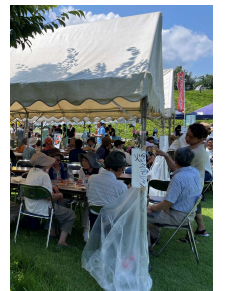
とうまりんけ×
アフリズムセッション 様



こゆきチンドン 様



にぎやかな休憩スペース



G イベントに参加

第37回雪原カーニバルなかさと食のれん街へ出店いたしました。いつも会う人、久しぶりに会う人、とたくさんのお顔を拝見できました。天気にも恵まれたこともあり、用意したメニューは完売となりましたが、地域のみなさまと笑いあえる時間をいただきました。

冬はイベント参加に恵まれ、2月の十日町雪まつり、3月の里山スノウリッチ*マーケットと弊法人で参加、お手伝いをさせていただきました。

